

Title	第二回日本民族学協会研究大会；第十一回早慶連合史学会；松本芳夫先生古稀紀年祝賀会；第十三回東方学会会員総会；中国学術代表団員夏竦氏来塾；三田史学会例会；国史談話会例会；国史談話会見学旅行；東洋史談話会；東洋史文献抄読会；西洋史学会例会
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1963
Jtitle	史学 Vol.36, No.4 (1963. 12) ,p.114(534)- 116(536)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19631200-0114">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19631200-0114</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 彙 報

### 第二回日本民族学協会研究大会

昭和三十八年五月二十三日(木)二十四日(金)

三田五一九番教室

シンポジウム「稲作」松本信広氏他

特別講演「北越南北ラオス山地民における社会的発展の経済的

要因」

G・モレシヤン氏

研究発表二十四

### 第十一回早慶連合史学会

早慶連合史学会第十一回大会を左記の通り開催した。

昭和三十八年六月二十二日(土)

於 早大文学部二二二番教室

#### 一、研究発表

鎌倉武家学問受容形態の考察

佐藤和夫氏(早大)

反ユダヤ主義の理解における方法の問題

下尾良策氏(慶大)

阿波藩経済政策の一断面

三木雄介氏(慶大)

#### 二、公開講演

唐代アジア史上の一研究

前嶋信次氏(慶大)

### 松本芳夫先生古稀記念祝賀会

昭和三十八年十月二十五日夕、大手町の産経会館に塾関係者・史学科卒業生多数が参集して、松本先生御夫妻をお招きし古稀祝賀会を催した。出席者は一五三名にのぼり、きわめて盛会であつた。

### 第十三回東方学会会員総会

昭和三十八年十一月七日(木) 三田五一九番教室

講演「中米の古代文化遺蹟

—マヤ文化からアスラカ文化まで—」

慶大助教授 西岡秀雄氏

「日本における甲骨学と殷墟の研究」

天理大教授 梅原末治氏

### 中国学術代表团員夏鼐氏来塾

昭和三十八年十二月五日(木)午後二時半より、在日中の中国学術代表团の一人、考古学者夏鼐氏が来塾され、考古学研究室の収蔵資料を見学されたのち、図書館記念室において歓迎会が行われ、席上、新中国の考古学研究の現状、日中の学術交流などについて種々の意見が交換された。

## 三田史学会例会

### 第四七四回例会

昭和三十八年四月十六日(火) 三田学生食堂

新入生歓迎会

### 第四七五回例会

昭和三十八年五月二十八日(火) 三田二一一番教室

英国に学ぶ

——「歴史研究所」その他 島崎隆夫氏

### 第四七六回例会

昭和三十八年十一月二十八日(木) 三田五二七番教室

欧州より帰りて

田中荊三氏

## 国史談話会例会

昭和三十八年五月八日(水)

新入生歓迎会

## 国史談話会見学旅行

昭和三十八年五月二十六日(日)

相州国分寺 日向薬師方面

昭和三十八年六月三十日(日)、七月一日(月)

清水、久能山方面

## 東洋史談話会

昭和三十八年四月二十六日(金) 三田芝舟

東洋史専攻新入生歓迎会

同 六月二十一日(金)

春季見学旅行 水戸偕楽園好文亭義烈館弘道館

同 六月二十六日(水) 三田五一九番教室

「インドの史蹟をめぐる」(スライド使用)

慶大助教授 西岡秀雄氏

同 十月二十九日(火)、三十日(水)

秋季見学旅行 塩原、大田原市佐久山月江窯

同 十一月十二日(火)

「南詔国研究上の諸問題」

岩手大教授 藤沢義美氏

同 十二月二十日(金) 三田四三三番教室

ヤークートの地理辞典中にみえるイブン・ハウカル

家島彦一君

## 東洋史文献抄読会

(いずれも第一研究室五〇八番教室)

十一月八日(金) 高橋英二君「インド・カースト研究の推移」

十一月十五日(金) 家島彦一君「イブン・ハウカルの記事」

「ソビエトにおける最近のイラン研究」  
近森正君：“Kwan-chih Chang: Major  
Problem in the Culture History  
of Southeast ANA”

十一月二十九日(金) 岩見隆君  
「ソビエトにおける最近のイラン研究」

### 西洋史学会例会

昭和三十八年五月十八日(土) 三田、五四五番教室

F. Cumont のシリア古代宗教史研究の一側面

小川英雄氏

昭和三十八年六月十二日(水) 三田、第四会議室

反ユダヤ主義の理解における方法の問題 下尾良策氏

昭和三十八年六月二十九日(土) 三田、一一〇番教室

Edward I の軍制、Distrain of Knighthood

森岡敬一郎氏

昭和三十八年九月二十八日(土) 三田、一三四番教室

マイネツケとワイマール共和国 米田 治氏

昭和三十八年十一月十三日(水) 三田、三二三番教室

Biens Nationaux 鈴木泰平氏

昭和三十八年十一月三十日(土) 三田、一一一番教室

マヤ文化からアステカ文化までの史蹟(スライド使用)

西岡秀雄氏

### 昭和三十八年度史学科秋季見学旅行記

十月十五日、前嶋、浅子、河北、神山、高橋各先生及び学生五十余名の史学科一行は、十二時五〇分平駅到着、直ちに貸切バスで内郷の白水阿弥陀堂を訪ねた。堂の周囲に蓮池の阿弥陀堂とも異称されたほどの背後の山には瀑布がかかっていたという所謂浄土式庭園の面影を有するその様相は、小堂宇であるが宝形造り、壮重雄麗な和様建築を一層鮮明に浮かび上らせていた。堂は永暦元年岩城氏の後室徳尼の創建と伝えられ、一に光堂と呼ばれた堂宇である。堂内を拝観する。浅子先生の詳細な説明に依れば、当初化粧屋根裏であつた外陣は、内陣同様小組格天井と変り、各格間、長押、周壁などに彩画の跡があり、また内陣柱は所謂卷柱で、丸鋳・宝相華形金具は平泉系文化の特色をよく物語っている。須弥壇上にその左右に寺伝持国(寺伝広目元)多聞の二天を配する阿弥陀三尊像は、純然たる藤原末期の様式で魚鱗式多弁蓮華座、華盤受座などを備えた優麗な台座、飛雲の透彫に飛天を配した華麗な光背まで完備しているのも珍らしいという。辞去后平市内に戻り、古文書見学班、古墳出土品見学班に分れ、前者は市公民館で浅子、河北、高橋諸先生の指導下、大國魂神社所蔵の国魂文書廿三点を見学。同文書は安堵状、軍忠状、著到状など各種のものに亘り、就中顕家花押の下文、尊氏袖判のものなど、南北朝史料として重要なも